

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和3年7月21日発行

運は自分で掴むもの

校長 齋藤 光夫

1学期が終わりました。いよいよ東京オリンピックが始まります。たくさんの期待をしているところですが、私が終業式で子どもたちに話をしたのは、オリンピックのことではなく、1人の魅力あるスポーツ選手が高校時代に立てた目標のことでした。

目標達成シート（9×9の81マスの中心に目標を記入し、周囲8マスに目標達成のための要素を記入した上で、さらに8要素達成のための要素を入れてマスを埋めていくもの）を使った目標設定については、3年前にも全校朝会で話をしています。しかし、その目標が話題になった選手の今年の活躍を見て、改めて子どもたちに伝えたくなくなったのです。

その選手とは、大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手です。

子どもたちへは次のような話をしました。

今日は、運は自分で掴むものという話です。

（中略）大谷選手は、高校1年生の時、将来、8球団からドラフト1位指名をもらうことを目標に掲げました。そして、その目標を達成するために8つのテーマを決めました。

その中の1つに「運」があります（その他、「体力づくり」「コントロール」「キレ」「メンタル」「スピード160km/h」「人間性」「変化球」を挙げています）。

（中略）私は、大谷選手の大ファンです。ピッチャーであり、ホームランバッターであり、足も速くてバントヒットも盗塁もできて、すばらしい活躍をしています。いつも優しい笑顔でいるところや、自慢するような威張ったところを感じません。尊敬できる、とても魅力的な人だと思います。

今年の6月の話です。大谷選手が試合中にゴミを拾ってポケットに入れる姿がテレビに映り、話題になりました。また、使い終わったバットを片付けてくれる少年に対し、やさしく気配りする姿も注目されました。

大谷選手が見せた姿は、活躍できるようになって意識した行動ではありません。そのことがよく分かるのが、高校1年生の時に大谷選手が掲げたテーマの一つ「運」なのです（右図）。

目標に必要な運を掴むために、ゴミ拾い、あいさつ、部屋掃除、などを頑張ると決めています。注目してもらいたいからではなく、自分の目標に必要なだと考えているところがすごいのです。また、強さを自慢し、他者を見下ろす態度の人には、心から応援したい魅力を感じません。大谷選手は、応援される人間になることが運を掴むために必要だと考えていました。そして、今、大谷選手は多くの人から愛され、応援される選手になっています。

さあ、オリンピックが始まります。どの選手も、自分の目標のために頑張り、自分の努力で参加資格という運をつかみ取ってきた人と言えます。メダルへの期待もありますが、これまで目標に向かって苦しい時も我慢強く頑張ってきた人たちを心から応援しましょう。

これから先、自分がどんな人生を送れるようになるかは運次第なのかもしれません。しかし、その運を自分で掴むために目標をもち、頑張る人は、とても魅力的です。皆さんも、自分の目標をしっかりともち、1日1日を大切に過ごし、すてきな夏休みにしてください。

あいさつ	ごみ拾い	部屋 そうじ
道具を大切に使う	運	審判さんへの態度
プラス思考	応援される人間になる	本を読む